

継続的な地域社会への貢献

私たちは人々が求める真の貢献を実現するために、その地域に密着し、交流を深めることで問題を共有し、その解決に努めます。



阿波踊りに参加した「イオン連」

期日前投票所を設置

2017年10月に実施された第48回衆議院議員総選挙では、全国31のイオンモールやイオンショッピングセンターに投票所を設置しました(期日前投票所30箇所、当日投票所1箇所)。お客さまに快適な施設環境で投票していただけるのももちろん、モールで働く従業員にも投票しやすい環境を整えました。



クリーン&グリーン活動

毎月11日のイオンデーには専門店従業員の皆さまにもご協力をいただいて、モール周辺の歩道、公園、植樹帯などの清掃活動を行っています。イオンモール広島祇園(広島県)では、2017年12月に「Asaminami Clean Communication」として安佐南区役所、サンフレッチェ広島と共同で清掃活動を行いました。

イオン 幸せの黄色いレシート

毎月11日は、お買い物の精算時に黄色いレシートを発行。レシートを地域の福祉団体などの名前が書かれた専用BOXに投函していただくと、合計金額の1%と同等の品物をその団体に寄付しています。

2017年度募金活動結果 (全国のイオンモール合計)

■復興応援障がい者ものづくり応援募金	2017/2/11~3/12	2,629,830円
■ミャンマー学校建設支援募金	2017/4/1~5/28	6,105,924円
■24時間テレビ募金	2017/6/16~9/3	31,851,765円
■九州豪雨災害 緊急支援募金	2017/7/10~7/23(※九州地区のみ7/17~)	2,412,934円
■イオンユニセフセーフウォーターキャンペーン募金	2017/10/1~10/31	2,521,231円
■アジア障がい者支援募金	2017/11/4~12/3	2,888,248円
合計		48,409,932円

伝統行事や祭事の支援

イオンモール徳島(徳島県)では、イオンワンパーセントクラブの支援を得て2017年の阿波踊り期間に地域の有名連を招待して館内で踊りを披露していただいたほか、従業員にアイドルグループSTU48を加えた「イオン連」が市内の演舞場で踊り込みを行いました。

地域の魅力を磨く「究極のローカライズ」

当社が掲げる経営ビジョンのひとつ「究極のローカライズ」を実現すべく、各モールの若手社員やフレックス社員(パートタイマー)から、地域の魅力を発信する独自企画を募っています。3年目を迎えた今回は、全国から寄せられた244案から厳選した12の企画を実施しました。

2017年度「究極のローカライズ」実施企画

- | | | | |
|-----------------------------|--------------------|-------------------------------------|-------------------|
| ■新! サッポロオ・レ! | カテプリ[北海道] | ■巨大本「かかみがはら散歩」 | イオンモール各務原[岐阜県] |
| ■8月10日(ハット)の日 | イオンモール春日部[埼玉県] | ■第1回 金魚フェス in イオンモール大和郡山 | イオンモール大和郡山[奈良県] |
| ■GO! GO! じてんしゃ王国 埼玉 | イオンレイクタウンmori[埼玉県] | ■和歌山サケ×ジョ フェス | イオンモール和歌山[和歌山県] |
| ■発見! 西多摩手箱 | イオンモール日の出[東京都] | ■mt・マスクングテープ・de あそび ~イオンモール倉敷にイドリを~ | イオンモール倉敷[岡山県] |
| ■~我がまち日野を名作の舞台に~ロケ地パネルキャラバン | イオンモール多摩平の森[東京都] | ■工都ものづくり祭 ~COOL NIIHAMA~ | イオンモール新居浜[愛媛県] |
| ■Jazzをもっと身近に~Jazzから広がる音楽~ | イオンモール岡崎[愛知県] | ■トゥンビー WEEK | イオンモール沖縄ライカム[沖縄県] |

工都ものづくり祭^{フェス} ~ COOL NIIHAMA ~ イオンモール新居浜 [愛媛県]

工業都市として日本の産業を支える新居浜市。地元の企業や学生がものづくりの技術力を競う「ものづくりスゴ技対決」や、ものづくり企業で働く方によるファッションショー「ゲンバ男子ON・OFF みてみまShow」など、3日間にわたりステージ発表や体験教室、展示を行い、ものづくりの楽しさをPRしました。



「ものづくりスゴ技対決」の競技内容の提案から携わりました。各企業が優勝をめざして技巧を凝らして製作し、当社も50回の試作を繰り返しました。ものづくりの楽しさが伝わり、各企業のPRや人材確保につながることを期待しています。



荻尾高圧容器株式会社 代表取締役社長 荻尾 広典様

人が多く集まる場所で技術を競うので、小・中学生に新居浜高専を知っていただけるいい機会となりました。学生にとっても、企業の方と交流を深めることで得られるものが多くあり、卒業後の進路を考えるうえでも貴重な経験になりました。



新居浜工業高等専門学校 環境材料工学科 志賀 信哉 教授

イオンモールさんを会場としたことで、ふだん工業になじみのない市民の皆さまにも面白さを伝えることができました。市政80周年を迎えたものづくりのまち新居浜を、これからも全国にアピールしていきたいと思っています。



新居浜市 経済部 産業振興課 副課長 石川 徹様

入社1年目で、私自身が地域のことを勉強しながら企画を立案しました。不安もありましたが、地元の皆さまに快くご協力いただき、上司や先輩の助けもあってこだわりを形にできました。貴重な経験を今後の自信につなげていきたいです。



イオンモール新居浜 営業担当 長島 実穂

継続的な地域社会への貢献

私たちは人々が求める真の貢献を実現するために、その地域に密着し、交流を深めることで問題を共有し、その解決に努めます。



「世界難民の日」関連イベント(イオンモール幕張新都心)

当社は、社会的な課題の解決をめざす各種の団体とパートナーシップを構築し、長年にわたって全国各地のモールで継続的な活動支援を行っています。

難民救助活動を支援 国連UNHCR協会

世界約130カ国で活動するUNHCR(国連難民高等弁務官事務所)の公式支援窓口、国連UNHCR協会への協力として、モール館内でお客さまに対して活動紹介や支援の呼びかけを行っていただくスペースを無償提供しています。2017年7月には、振付演出家の南流石さんが中東ヨルダンでシリア難民の方々に行ったダンスワークショップをイオンモール幕張新都心(千葉県)で再現するイベントに協力しました。



献血活動への協力 日本赤十字社

全国のモールで献血会場を提供し、2017年度は全国で約149,000名の方にご協力をいただきました。1993年の開店から献血者数のがのべ88,000名となったイオンモール秋田(秋田県)は、2017年7月に「第53回献血運動推進全国大会」で日本赤十字社銀色有功賞を受賞。12月には30のモールで学生献血推進ボランティアが主体となり、献血を呼びかけました。



世界の子どもたちを支援 日本ユニセフ協会

子どもの命と権利を守るために世界中で活動するユニセフ(国連児童基金)と協力協定を結ぶ日本ユニセフ協会への支援を2010年から継続して行っています。2017年には18モールで募金プログラムへの参加を募るためのスペースを提供しました。



障がい者団体の利用を積極的に受け入れ

親子3世代で楽しめる仕事体験テーマパーク「カンドゥー」をイオンモール幕張新都心(千葉県)で運営する当社100%出資子会社のイオンモール キッズドリーム合同会社では、特別支援学校や特別支援学級など、障がいのあるお子さまの団体を積極的に受け入れており、県内外から毎月2~3団体程度のご利用をいただいています。



施設全体が見渡せて車椅子でも動きやすく、スタッフの方も自然に寄り添ってくださるのがいいですね。去年連れてきた児童がたいへん喜んでいたので継続して利用しています。子どもたちが将来のことを考えたり、街で見かける大人たちのいろいろな仕事に興味を持ったりするきっかけになっています。

川崎市立小田小学校 前田 三枝先生(左)
川崎市立大島小学校 佐藤 幸子先生(右)



障がい者を団体で受け入れる施設はまだ少ないようですが、私たちは「心配なさらず、どうぞ安心していらしてください」とお伝えしています。先日は特別支援学校全体の230名のお子さまを一度に受け入れて楽しい時間を過ごしていただきました。「ここに来て初めて将来の夢が見つかりました」といった声をいただくと本当に嬉しいですね。

イオンモール キッズドリーム合同会社
営業部 営業企画グループ担当
丸山 浩介



大切なのは、障がいのある方を特別扱いするのではなく、健常者といっしょに楽しく過ごしていただくことです。さまざまなお子さまがいるので、一人ひとりの様子を見てスタッフが臨機応変に対応しています。仕事体験をご提供いただくスポンサー企業からも「私たちの想いをお客さまに届けている」とご賛同をいただいています。

イオンモール キッズドリーム合同会社
代表職務執行者 社長
伴井 明子



東松島市への復興支援を継続

東日本大震災で甚大な被害を受けた宮城県東松島市への地域創生活動の支援を2013年から継続して行っています。応急仮設住宅で生まれたソックモンキー「おのくん」の制作や販売を支援するキャラバンイベントを2017年度はイオンモール宮崎(宮崎県)、イオンモール四條畷(大阪府)で開催したほか、全国のモールで材料となる靴下や綿の回収ボックスを設置し、お客さまからのご協力をいただいで寄贈しています。

